

所属 法学部 職名 教授

氏名 瀬戸一夫

< 研 修 概 要 >

本研修の課題は、紀元前5世紀に活躍したアナクサゴラスの現存する著作断片を解読し、彼と同時代のゼノン（ゼーノン）が遺した複数のパラドックスとの関係でそれらの著作断片を分析した後、アナクサゴラス自然論の復元を試みることであった。その成果は、以下の通り公表されている、または公表予定である。

「ゼノンのパラドックスについて（1）」『成蹊法学』第93号（成蹊大学法学部、2021年）243-259 ページ所収。 <http://hdl.handle.net/10928/1379>

「ゼノンのパラドックスについて（2）」『成蹊法学』第94号（成蹊大学法学部、2021年）275-288 ページ所収。 <http://hdl.handle.net/10928/1425>

「ゼノンのパラドックスについて（3）」『成蹊法学』第95号（成蹊大学法学部、2022年）191-212 ページ所収。 <http://hdl.handle.net/10928/1447>

「ゼノンのパラドックスについて（4）」『成蹊法学』第96号（成蹊大学法学部、2022年）197-220 ページ所収。 <http://hdl.handle.net/10928/1511>

「アナクサゴラスの自然論（1）」『成蹊法学』第97号（成蹊大学法学部、2022年）267-296 ページ所収。 <http://hdl.handle.net/10928/1562>

「アナクサゴラスの自然論（2）」『成蹊法学』第98号（成蹊大学法学部、2023年）掲載予定。

「アナクサゴラスの自然論（3）」『成蹊法学』第99号（成蹊大学法学部、2023年）掲載予定。